

**Pioneer**

コンパクトDVD-ROMドライブ

**PCP-PR800D**

取扱説明書



このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書を本機ご使用前に最後までお読みください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。お読みになった後は「保証書」と一緒に保管してください。使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役にたちます。

- ・ Microsoft® と Windows® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ PC 98 シリーズは日本電気株式会社の商標です。
- ・ Photo CD は米国 Eastman Kodak 社の商標です。
- ・ その他の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。




パイオニアでは、インターネットホームページを開設しております。製品の紹介や最新ドライバーなどの提供を行っております。

URL <http://www.pioneer.co.jp/comp/>




この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接してご使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

# 安全上のご注意

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 <b>危険</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵記号の例

	△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。 図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

## お願い！

ディスクの回転中に本機を動かしたり持ち上げたりしないでください。本機はディスクを高速回転させています。このとき本機を持ち上げたり移動したりするとディスクを傷つける恐れがあります。

# 警告

## ご使用は国内のみ

本機は国内専用です。また、接続できる機種が決まっていますので、対象外の機種には使用しないでください。



禁止

## 異常時の処置

- 万一、煙が出ている、変な臭いや音がするなど、異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。煙がでなくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



プラグを抜く



プラグを抜く



プラグを抜く

## 設置

- ACアダプタのプラグの刃および付近に埃や金属物が付着している場合は、ACアダプタを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- ACアダプタコードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、ACアダプタコードが引っぱられないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。
- 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとってください。また、次のような使い方では通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
  - ・あおむけや横倒し、逆さまにする。
  - ・押入など、風通しの悪い狭いところに押し込む。
  - ・じゅうたんや布団の上に置く。
  - ・テーブルクロスなどをかける。



プラグを抜く



禁止



禁止

# 警告

## 使用環境

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
- 風呂場・シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止



風呂場・シャワー室での使用禁止

## 使用方法

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物をおかないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 本機通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本機を分解したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



水ぬれ禁止



禁止



分解禁止

## ACアダプタについて

- ぬれた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 本機に付属以外のACアダプタを使用することは絶対にやめてください。火災・感電の原因となります。
- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプタのコードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加工したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。
- AC電源で使用するときは表示された電源電圧（AC 100V）以外の電圧で使用しないでください。



ぬれ手禁止



禁止



接触禁止



禁止



禁止

# ⚠ 注意

## 設置

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
- 湿気やほこりの多い場所に設置しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止



禁止

## 使用方法

- レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。



禁止

## ACアダプタについて

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。
- ACアダプタを取り扱う際は、アダプタ本体をお持ちください。コードを引っ張らないでください。故障だけでなく、火災や感電の原因となります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
- ACアダプタのコードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは、根元まで差し込んでみのあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



プラグを抜く



禁止



プラグを抜く



禁止



禁止

## インターフェースカードについて

- 付属のインターフェースカードは、本機(PCP-PR800D)専用です。他の機種に接続してご使用にならないでください。故障の原因となります。



禁止

# もくじ

安全上のご注意 .....	3
もくじ .....	7
お使いになる前に .....	8
特 徴 .....	10
付属品の確認 .....	10
設置について .....	11
各部の名称と働き .....	12
セットアップの前に .....	13
セットアップのしかた .....	16
アンインストールのしかた .....	22
接続のしかた(例) .....	23
ディスクの入れかた .....	24
ディスクの取り出しかた .....	25
システムの起動のしかた .....	26
システムの終了のしかた .....	26
緊急時のディスクの取り出しかた .....	27
Windows98/95を使用中にインターフェースカードを抜き差しする .....	28
PCカードスロットからの給電による動作 .....	29
ノートブックパソコンのリカバリーについて .....	31
故障? ちょっと調べてください .....	34
使用上の注意 .....	36
アフターサービス .....	37
仕 様 .....	41
ソフトウェアの使用条件 .....	42

はじめに

各部の  
名称

セットアップ  
と接続

操作

その他

# お使いになる前に

## 本機を使用できるパソコン

DOS/Vパソコン、NEC PC-98 NXシリーズ

- ・3.5インチフロッピーディスクドライブが内蔵されている、または外部機器として3.5インチフロッピーディスクドライブを接続して使うことができる機種。
- ・PCMCIAタイプIIのスロットを装備している機種。

デスクトップパソコンに接続してご使用になるときは、別途PCMCIAカードアダプターなどが必要となります。

## 本機を使用できるOS(オペレーティングシステム)環境

日本語Windows 98<sup>®</sup>

日本語Windows 95<sup>®</sup> (OSR2以降)

## 本機がサポートしているディスクの種類

- ・DVD-ROM(一層/二層)、DVD-Video<sup>\*1</sup>、DVD-R(3.95GB/4.7GB)
- ・CD-ROM(Mode 1)、CD-ROM XA(Mode 2 Form 1、Form 2)
- ・CD-DA(音楽CD)、Video CD、CD-R、CD-RW<sup>\*2</sup>
- ・Photo CD(マルチセッション対応)、CD-Extra、CD-TEXT  
(DVD-RAMは使用できません。)

\*1 : DVD-Videoを再生するには 付属のDVD再生ソフト、または別途デコーダーカードが必要です。ご使用のパソコンによってはフルフレーム再生ができないことがあります。

\*2 : CD-RWはディスクの性質上、本機の性能を十分に発揮できないことがあります。

### 【注意】

- ・Windows 95で「CardBusモード」を動作させるには、OSR2(Ver4.00.950B)以降のバージョンが必要です。
- ・「CardBusモード」でご使用になるには、PCMCIAタイプIIのCardBusスロット(32 bit)を装備している必要があります。
- ・本機のみでサウンド付ゲームなどのDVD-ROM/CD-ROMソフトの音声を再生することはできません。パソコンにサウンド機能が必要になります。
- ・本機とパソコンをインターフェースケーブルで接続しただけでは音楽CDの再生音をパソコンで聞くことはできません。本機のヘッドホン端子にヘッドホンやパワードスピーカーを接続して音楽CDの再生音をお聞きください。



## お使いになる前に

### 付属のDVD再生ソフトの推奨動作環境

CPU : Celeron 300MHz以上、Pentium II 266MHz以上、

AMD-K6-2 300MHz以上。

メモリ: 16MB以上

\* DVD-VideoのリージョンNo.について

DVD-Videoの再生には発売地域ごとに再生可能な地域コード(リージョンNo.)が設けられています。本機は付属のDVD再生ソフトでリージョンNo.を設定することができます。リージョンNo.2(日本)に設定してご使用ください。リージョンNo.の設定方法はDVD再生ソフトの取扱説明書をご覧ください。

#### 【注意】

本機のリージョンNo.は5回まで設定、または変更が可能です。5回以上設定、または変更したときは、5回目に設定されたリージョンNo.で固定され変更できなくなります。不用意にリージョンNo.を変更しないようにご注意ください。

# 特 徴

DVD-ROM最大8倍速、CD-ROM最大32倍速の高速データ転送  
CardBusスロット(32bit)とPCカードTYPEIIスロット(16bit)に対応  
のATAインターフェースカードを採用

- CardBusモード (CardBusスロット対応パソコンのみ) 動作時
  - ・バスマスタ転送方式対応による高速転送
  - ・32bitデータバス、33MHzクロック
- 16bitモード動作時
  - ・Ultra SMIT転送方式により高速転送を実現

持ち運びに便利な薄形小型軽量設計

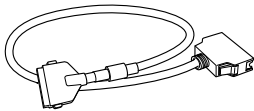
小型・軽量ACアダプター付属

ノートブックパソコンのPCカードスロットからの電源供給による動作が可能(16bitモードのみ)。

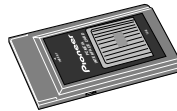
DVD再生ソフトによるDVD-Videoディスクの再生(DVD再生ソフトの使用  
方法はソフトに付属の取扱説明書をご覧ください)。

# 付属品の確認

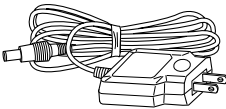
- インターフェースケーブル×1



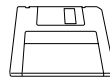
- インターフェースカード×1  
(PCMCIAタイプII)



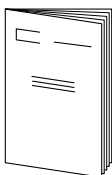
- ACアダプター×1



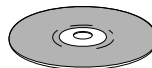
- セットアップディスク×1



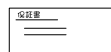
- 取扱説明書×1



- DVD再生ソフト×1



- 保証書×1



# 設置について

## 特に注意していただきたいこと

- 動作中に動かしたり持ち上げたりしないでください。動作中、ディスクは高速で回転しています。このとき本機を持ち上げたり移動したりするとディスクを傷つける恐れがあります。
- 本機を移動する際は必ずディスクを取り出し、本機の電源を切ってください。
- 本機は防塵構造ではありません。そのため、ほこりやタバコの煙の多い場所では使用しないでください。
- 垂直に立てて使用することはできません。必ず銘板ラベルのある面を下にして設置してください。

## 設置上の注意

本機は、非常に精密に作られたエレクトロニクス機器です。強い振動、衝撃を避け、高温、多湿の場所に置かないでください。

- 安定した場所に置いてください。  
水平で安定した台の上などに置いて使用してください。また、ぐらつく所や、ソファーの上などの不安定な所で使用しないでください。
- 本機の上に他の機器を載せないでください。  
本機の上に他の機器を載せると、キャビネットが変形して故障の原因となります。
- 熱を発生する機器の上に置かないでください。  
熱を発生する機器の上に置いて長時間使用すると、ディスクや本機に悪い影響を与えますので、熱を発生する機器の上に直接置かないでください。

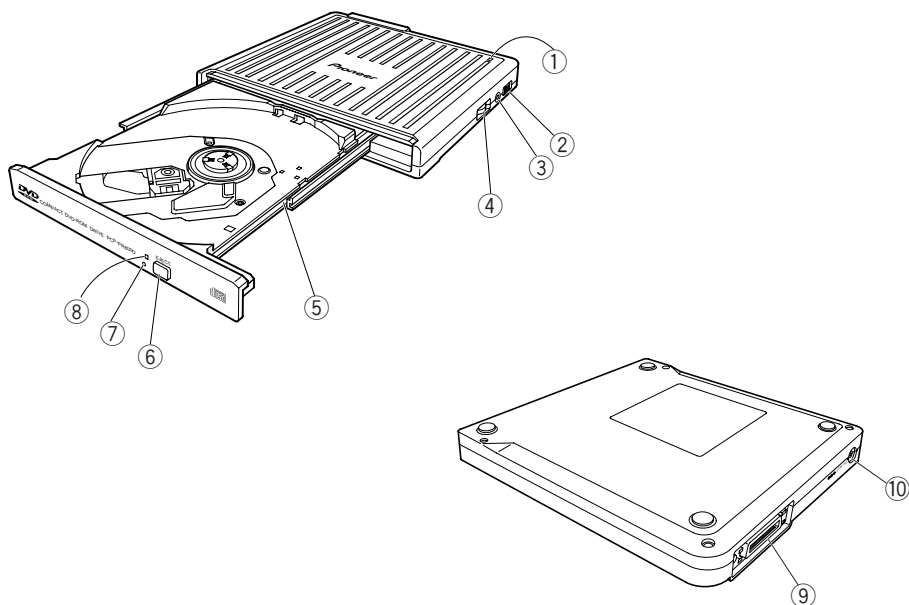
## 結露について

冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きまゝ（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1～2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。

夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。



# 各部の名称と働き



- ① 電源インジケーター  
本機通電時に点灯します。
- ② AC電源スイッチ  
AC電源をオン/オフします。
- ③ ヘッドホン(PHONE)端子  
ヘッドホンを接続します。
- ④ ボリューム(VOLUME)つまみ  
ヘッドホンの音量を調整するときに使用します。
- ⑤ ディスクトレイ  
ディスクをセットします。
- ⑥ イジェクト(EJECT)ボタン  
ボタンを押すとディスクトレイが少し出てきます。ディスクの回転が停止した後、手前に引き出します。
- ⑦ 強制イジェクトホール  
緊急時のディスクの取り出しに使用します。詳しくは「緊急時のディスクの取り出しかた(27ページ)」をご覧ください。
- ⑧ ビジーインジケーター  
データアクセス中、橙色に点灯します。
- ⑨ インターフェースコネクター  
インターフェースケーブルと接続します。
- ⑩ 電源端子  
付属のACアダプターを使用して壁のコンセント(AC100V、50/60Hz)に接続します。付属のACアダプター以外は絶対に使用しないでください。

# セットアップの前に

本機を使用する前に、お使いのパソコンにセットアップ（デバイスドライバのインストール）をする必要があります。セットアップの詳細な方法については「セットアップのしかた(16～21 ページ)」をご覧ください。

## [ 参考 ]

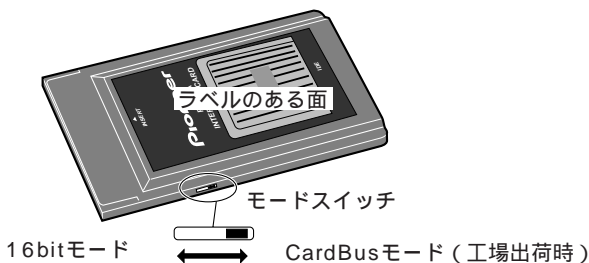
- ・取扱説明書やインストール中に、「CBIDE 2」という名称が表示されますが、これは本機付属のインターフェースカードのことです。
- ・セットアップディスクのバックアップ（データのコピー）を取ることをおすすめします。詳しくはパソコンに付属の説明書をご覧ください。
- ・セットアップディスクにはREADMEファイルが入っています。READMEファイルには取扱説明書に記載されていない情報もありますので初めにご覧ください。

各部の  
名称

セットアップ  
と接続

## モードスイッチの設定

付属のインターフェースカードのモードスイッチで「CardBusモード」と「16bitモード」を切り換えることができます。



CardBusモード	PCカード規格TypeII準拠のCardBusスロット（32bit）を搭載したWindows98/95*がインストールされたパソコンで動作できるモードです。バスマスタ転送方式による32bitデータ転送の高速転送を行います。最大転送レートは132MB/s（理論値）です。 (*Windows95では、OSR2(Ver 4.00.950B)以降のバージョンがインストールされたパソコンでしか動作しません。)
16Bitモード	PCカード規格TypeII準拠のCardBusスロット（32bit）またはインターフェースカードスロット（16bit）を搭載したパソコンで動作できるモードです。UltraSMIT転送方式による16bit高速転送を行います。最大転送レートは6MB/s（理論値）です。

## セットアップの前に

### 「CardBusモード」で使用できる場合

下記の条件に該当する場合のみ「CardBusモード」で使用することができます。ご使用できる場合は、本機の性能を十分に発揮できる「CardBusモード」での使用をおすすめします。

#### 使用条件

- ・ Windows 98 または Windows 95<sup>\*1</sup> を使用している。
- ・ パソコンが CardBus スロットを搭載している。
- ・ パソコンに CardBus 対応のドライバがインストールされている<sup>\*2</sup>。

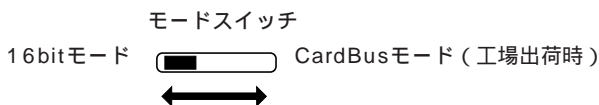
\*1: Windows 95 では、OSR2 (Ver4.00.950B) 以降のバージョンでのみ動作します。バージョンを確認する方法については「Windows 95 のバージョンを確認する(15 ページ)」をご覧ください。

\*2: CardBus 対応ドライバを確認する方法については「CardBus 対応ドライバを確認する(15 ページ)」をご覧ください。

### 「CardBusモード」で使用できない場合

- ・ パソコンが CardBus に対応していない  
CardBus 対応のドライバの確認は「CardBus 対応ドライバを確認する(15 ページ)」をご覧ください。
- ・ Windows 95 (Ver4.00.950) または Windows 95 (Ver4.00.950a) で使用しているとき  
バージョンの確認は「Windows 95 のバージョンを確認する(15 ページ)」をご覧ください。
- ・ 本機によるノートブックパソコンのリカバリーを行うとき  
ノートブックパソコンのリカバリーについては、「ノートブックパソコンのリカバリーについて(31~33 ページ)」をご覧ください。

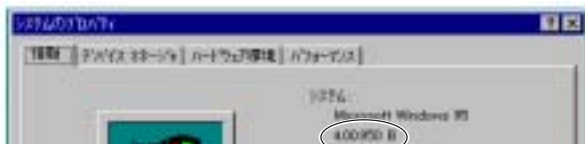
以上に該当する場合はモードスイッチを 16bit モードに切り換えて使用してください。モードスイッチは先の硬いピンなどを使って切り換えてください。



## セットアップの前に

Windows95のバージョンを確認する(Windows95で使用するとき)

- 1 タスクバーの「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を順に左クリックします。
- 2 「システムのプロパティ」に表示される番号がWindows95のバージョンです。



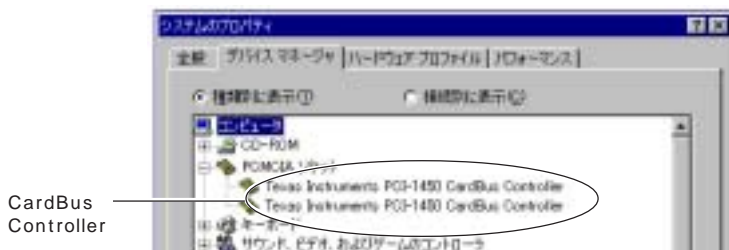
バージョンが [ 4.00.950 B ]、または [ 4.00.950 C ] がOSR2以降です。

### CardBus対応ドライバを確認する

ご使用のパソコンのPCカードドライバがCardBusに対応しているかを確認します。

1. タスクバーの「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を順に左クリックし、「システム」を選択します。
2. 「システムのプロパティ」画面の「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
3. 「PCMCIAソケット」のドライバにCardBus対応のドライバ(CardBus Controller)がインストールされていることを確認してください。

表示例(CardBusスロットが2つの場合)



#### [ 注意 ]

- ・コントローラの名称に「CardBus」という記載があることを確認してください。
- ・CardBus Controllerの名称は環境により異なります。
- ・CardBus対応ドライバがインストールされていなければCardBus対応機種ではありません。
- ・ご使用のパソコンのCardBus対応のPCカードスロットの数により表示は異なります。

# セットアップのしかた

Windows 98/95で使用するには

## インストールする前に

Windows98/95でインターフェースカードを使うには、インターフェースカードのWindows98/95用デバイスドライバをインストールしてください。下記の内容を確認してした後、デバイスドライバのインストールを行います。

### [ 注意 ]

インターフェースカードのWindows98/95用デバイスドライバのインストールが終了するまでは、インターフェースカードをPCカードスロットへ差し込まないでください。

## 1. PCカードスロットの電源供給の設定を確認する

パソコンのPCカードスロットの電源供給の設定（オン/オフ）ができるパソコンをご使用のとき、電源が供給される設定になっていることを確認してください。PCカードスロットの電源供給の詳しい設定方法についてはご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。

### [ 注意 ]

パソコンのPCカードスロットに電源が供給されない状態ではインターフェースカードを使用することはできません。

## 2. オートパワーダウン\* 機能の設定をする

インターフェースカードを使用しているとき、パソコンのオートパワーダウン機能が働くと思わぬ障害の原因になることがあります。このような障害を避けるために、必ずパソコンのオートパワーダウン機能が働かないように設定してください。設定の詳しい方法についてはご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。

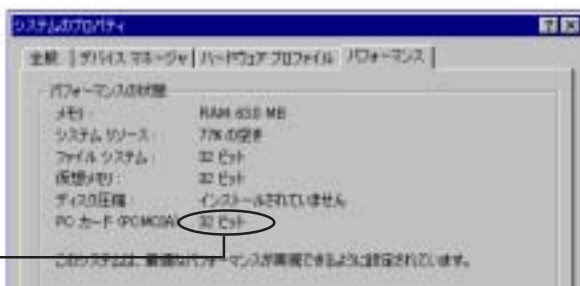
\* ノートブックパソコンなどで、設定された時間内に何も操作を行なわなかったときにパソコンが自動的に電源を切る機能



## セットアップのしかた

### 3. インターフェースカードのドライバを確認する

Windows98/95を起動し、「マイコンピュータ」を右クリックして、[プロパティ]を左クリックしてください。[パフォーマンス]のタブを左クリックし、PCカード(PCMCIA)のドライバが32ビットであることを確認してください。



ここを確認

#### [ 参考 ]

32ビットになっていないときは、「コントロールパネル」の「PCカード」アイコンをダブルクリックして、PCカードウィザードを起動させてください。画面の指示にしたがって設定すると32ビットに変更することができます。詳しくはご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。

### 4. 使用するPCカードスロットのモードを確認する

パソコンの機種によっては、PCカードスロットのモードの設定を「CardBus」モード、または「PCIC互換」（または「PCIC Compatible」）モードに切り換えることができます。このような機種のパソコンでは、PCカードスロットのモードを「CardBus」モードに設定してご使用ください。設定の詳しい方法についてはご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。

# セットアップのしかた

## デバイスドライバのインストールのしかた

1. 「セットアップディスク」をパソコンのフロッピーディスクドライブに入れる

2. タスクバーの「スタート」→「ファイル名を指定して実行」を順に左クリックし、「名前」を以下のように入力する

例：a:¥win9x¥ddsetup  
(フロッピーディスクドライブがAドライブのとき)



3. 「名前」の入力が終わったら [OK] を左クリックする  
「デバイスドライバセットアップ」画面が表示されます。



4. 「インストール」が選択されていることを確認したら [OK] を左クリックする

5. インストール終了の画面が表示されたら [OK] を左クリックする

インストールが終了します。セットアップディスクを取り出してください。

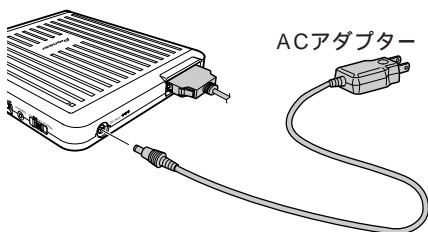


# セットアップのしかた

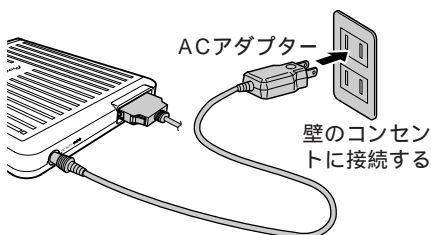
パソコンのセットアップ終了後、以下の手順にしたがって各機器の接続を行ってください。また、本機をパソコンに接続する前に以下のことを確認してください。

- ・パソコンの電源が入っている
- ・Windowsが起動している

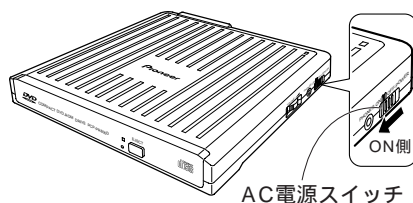
## 6. 付属のACアダプタを本機に接続する



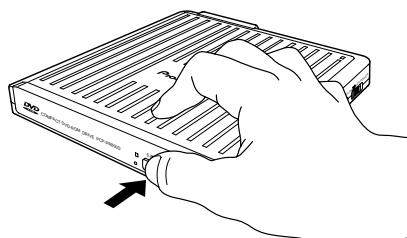
## 7. 付属のACアダプターを電源コンセントに接続する



## 8. 電源をオンにする



## 9. イジェクト(EJECT)ボタンを押す ディスクトレイが少し出てきます。

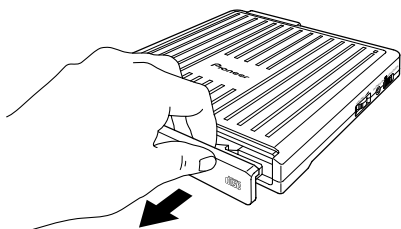


### 【注意】

長時間使用しないときは節電のため、ACアダプタと本機、およびACアダプタとコンセントの両方を取り外してください。

## セットアップのしかた

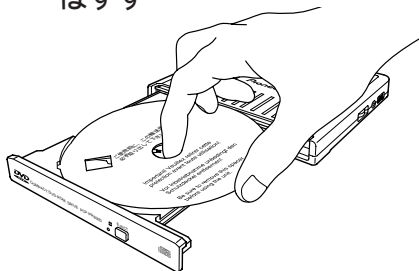
### 10. 前面パネルを持ちディスクトレイを手前に引き出す



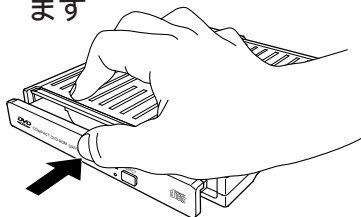
#### 【注意】

ディスクトレイは必ずイジェクト (EJECT) ボタンを押して引き出してください。無理に引き出すと故障の原因となります。また、ディスクトレイは全開位置以上に無理に引き出さないでください。破損する恐れがあります。

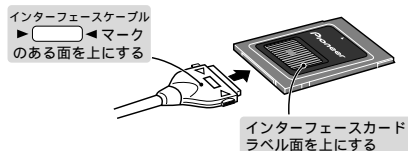
### 11. 輸送用スペーサーを静かにはずす



### 12. 前面パネルを押してディスクトレイを完全に押し込みます



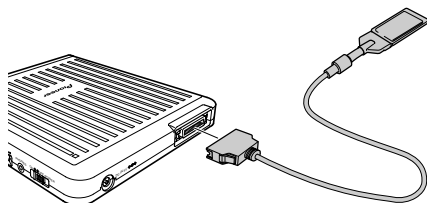
### 13. 付属のインターフェースケーブルと付属のインターフェースカードを接続する



#### 【注意】

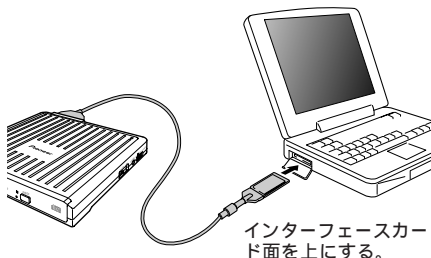
インターフェースカードからインターフェースケーブルを取りはずすときは、インターフェースケーブルのコネクタの両側のツメを押しながら水平に取りはずしてください。

### 14. 付属のインターフェースケーブルのもう一方をコネクタの向きに注意して本機に接続する



## セットアップのしかた

15. 付属のインターフェースカードをノートブックパソコンのPCカードスロットに差し込む



### 【注意】

- ・パソコンの機種によっては、インターフェースカードを差し込む面の裏と表が逆になっていることがあります。
- ・ご使用のノートブックパソコンによっては、ここで新しいハードウェアの追加ウィザードが立ち上がってしまうことがあります。このようなときは再度フロッピーディスクドライブにセットアップディスクを入れ、ウィザードの指示にしたがってデバイスドライバの検索場所を指定してください。

CardBusモードの場合

→A:¥Win9×¥CardBus

16bitモードの場合

→A:¥Win9×¥16bit

16. 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックして、セットアップを確認する  
「マイコンピュータ」の画面上にDVD-ROM ドライブの表示が追加されます。



### 【注意】

が表示されなかったときは「故障？ ちょっと調べてください(34～35ページ)」をご覧ください。

以上でセットアップは完了です。

# アンインストールのしかた

1. 「Windows98/95を使用中にインターフェースカードを抜き差しする(28 ページ)」をご覧ください、PCカードをパソコンのインターフェースカードスロットから抜く

パソコンがインターフェースカードを認識していないときはそのまま抜いてください。

2. セットアップディスクをパソコンのフロッピーディスクドライブに入れる

3. タスクバーの「スタート」→「ファイル名を指定して実行」を順に左クリックし、「名前」を以下のように入力する

例：a:¥win9x¥ddsetup  
(フロッピーディスクドライブがAドライブのとき)



4. 「名前」の入力が終わったら [OK] を左クリックする

「デバイスドライバセットアップ」画面が表示されます。

5. 「アンインストール」を選択したら [OK] を左クリックする  
「アンインストール」を確認する画面が表示されます。



6. [OK] を左クリックする

アンインストールをやめたいときはここで「キャンセル」を選択してください。



7. アンインストール終了の画面が表示されたら [OK] を左クリックする

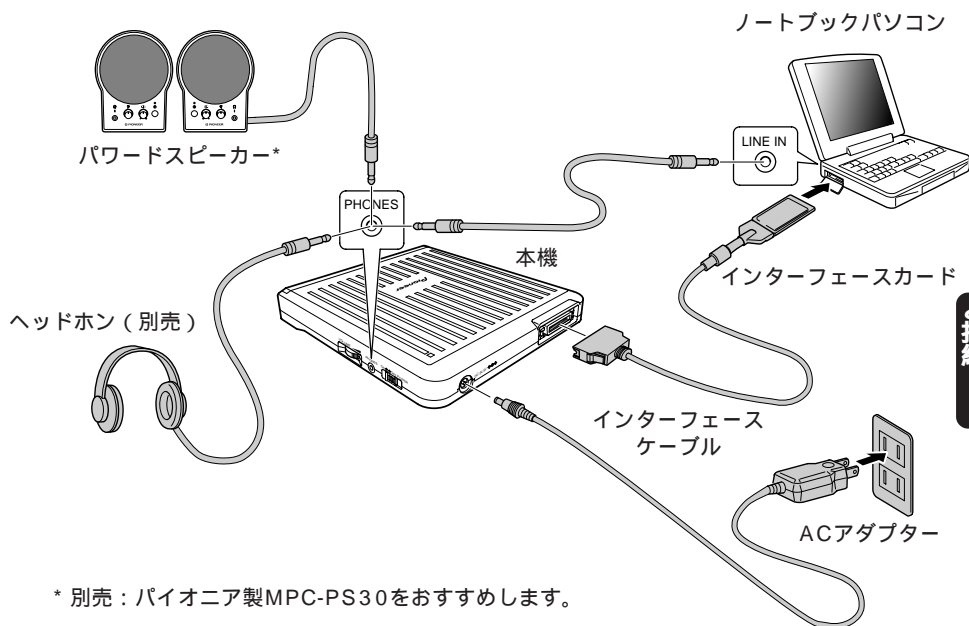
Windowsの再起動を行う画面が表示されます。



8. フロッピーディスクドライブからセットアップディスクを抜いて、「はい」をクリックする  
Windowsが起動したらアンインストールは終了です。



# 接続のしかた(例)



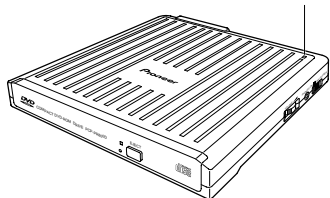
## 【注意】

- ・音楽CDを聞くときは、本機のヘッドホン端子にヘッドホンやパワードスピーカーを接続してください。また、パソコンのサウンドシステムに LINE IN 端子があるときは、市販のステレオミニケーブルを使用してヘッドホン端子と接続してください。
- ・CD-ROMを使うと、音声や音楽が本機のヘッドホン端子から出ることがあります。(音楽CDデータ(オーディオトラック)を含んだゲームCD-ROM、CD-Extra、Portfolio CD (Photo CD) など)
- ・本機で音楽CDを聞くにはパソコンの音楽CD再生ソフトが必要です。音楽CDソフトの詳しい操作方法などについては、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。本機だけで音楽CDを再生することはできません。

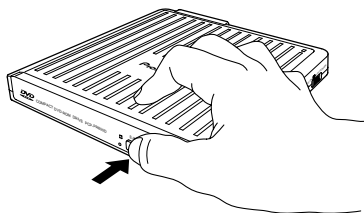
# ディスクの入れかた

1. 電源インジケータが緑色に点灯していることを確認する

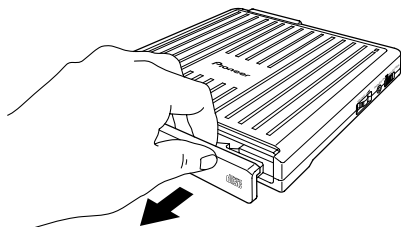
電源インジケータ



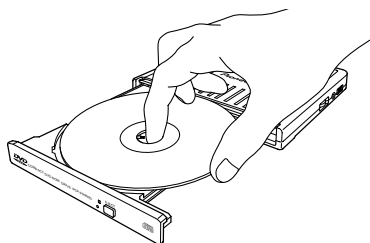
2. イジェクト(EJECT)ボタンを押す  
ディスクトレイが少し出てきます。



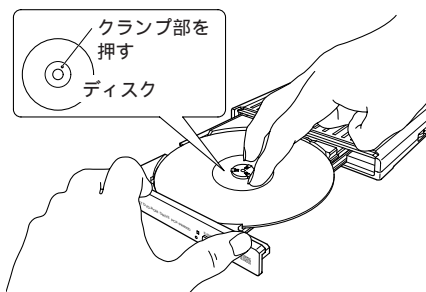
3. 前面パネルを持ち、ディスクトレイを手前に引き出す



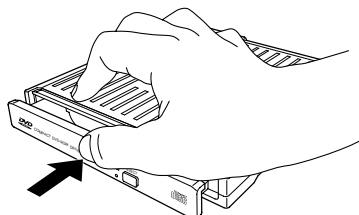
4. レーベル面を上にして、ディスクを入れる



5. トレイを片手でささえ、もう片方の手でディスクが固定されるまで押し込む



6. 前面パネルを押してディスクトレイを完全に押し込む



## 【注意】

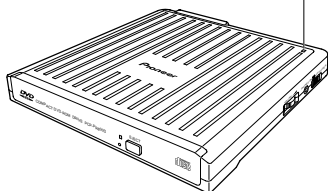
- ・ディスクを入れるときは、無理な力をかけたり、レンズに触れないようにしてください。
- ・油脂成分がクランプ部に付かないようにしてください。油脂成分が付くと、高速回転したときスリップすることがあります。もしついてしまったときは「ディスクの取り扱いかた (36 ページ)」をご覧ください。



# ディスクの取り出しかた

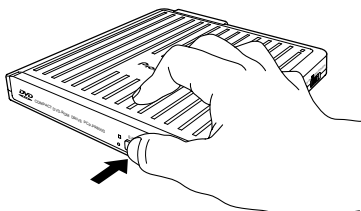
1. 電源インジケーターが緑色に点灯していることを確認する

電源インジケーター



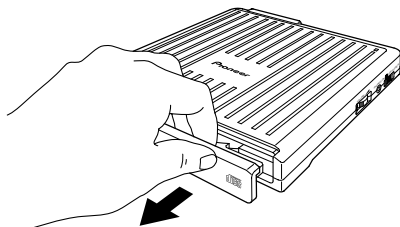
2. イジェクト(EJECT)ボタンを押す

ディスクトレイが少し出てきます。

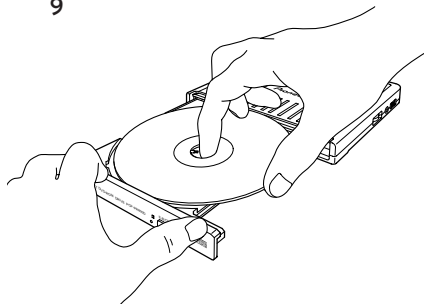


3. 前面パネルを持ち、ディスクトレイを手前に引き出す

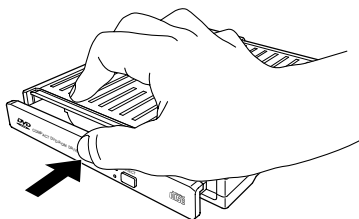
ディスクの回転が止まっていることを確認してください。



4. トレーを片手でささえ、もう片方の手でディスクを取り出す



5. 前面パネルを押してディスクトレイを完全に押し込む



## 【注意】

ディスクトレイを引き出すときは、ディスクの回転が止まっていることを必ず確認してください。

## システムの起動のしかた

パソコンで本機を操作するには、付属のセットアップディスクを使用してパソコンのセットアップ（デバイスドライバのインストール）を行ってください。セットアップの詳しい方法については「セットアップのしかた(16～21 ページ)」をご覧ください。

- 1 パソコンの電源を入れます。  
Windowsが起動していることを確認してください。
- 2 インターフェースケーブルをインターフェースカードを本機に接続してください
- 3 本機の電源を入れます。
- 4 インターフェースカードをパソコンのカードスロットを差し込みます。  
向きを確認して、正しく差し込んでください。
- 5 ディスクを本機にセットし、ディスクトレイを押し込みます。

## システムの終了のしかた

- 1 ディスクを本機より取り出します。
- 2 パソコンのOSを終了します。
- 3 パソコンの電源を切ります。
- 4 本機の電源を切ります。
- 5 インターフェースカードをパソコンのカードスロットから取り外します。

### 【注意】

- ・パソコンの電源を入れたままインターフェースカードを抜き差ししたいときは「Windows98/95を使用中にインターフェースカードを抜き差しする(28 ページ)」をご覧ください。
- ・パソコンや本機の電源を入れる前にインターフェースカードをパソコンのスロットに入れると本機が認識されず操作ができないことがあります。必ずパソコンと本機の電源をオンにしてからインターフェースカードをスロットに差し込んでください。
- ・電源をオフにするときは、パソコンの電源を切ってから本機の電源をオンにしてください。先に本機の電源を切るとパソコンの操作ができなくなることがあります。

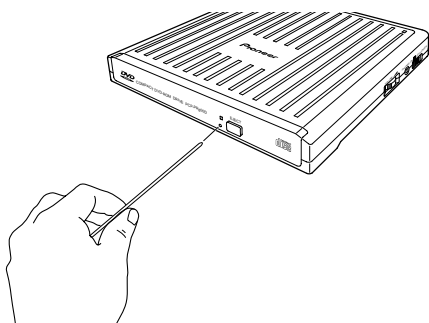
# 緊急時のディスクの取り出しかた

強制的にディスクを取り出さなくてはならなくなってしまったとき(電源がないとき、本機が故障したときなど)は、以下の手順でディスクを取り出してください。

1. 本機に接続されているすべてのケーブルをはずす

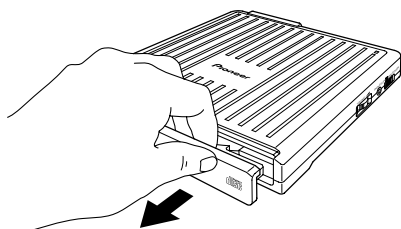
2. 伸ばしたクリップなどを強制イジェクトホール(12ページ⑦)に差し込んでゆっくりと押す

ディスクトレイが少し出てきます。



3. 前面パネルを持ち、ディスクトレイを手前に引き出す

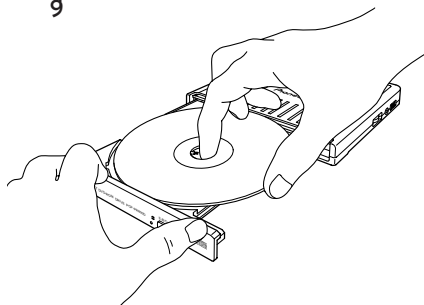
ディスクの回転が止まっていることを確認してください。



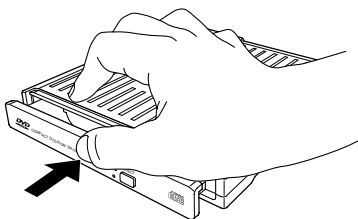
## 【注意】

ディスクトレイを引き出すときは、ディスクの回転が止まっていることを必ず確認してください。

4. トレイを片手でささえ、もう片方の手でディスクを取り出す



5. 前面パネルを押してディスクトレイを完全に押し込む



# Windows 98/95 を使用中にインターフェースカードを抜き差しする

Windows 98/95 の使用中でもインターフェースカードを抜き差しすることができます。下記の手順にしたがってインターフェースカードを抜き差ししてください。正しい手順で抜き差ししないと予期せぬ障害が発生することがあります。

- 1 インターフェースカードに接続したDVD-ROMドライブにアクセスがないことを確認したら、タスクバーのPCカードのアイコンを左クリックする



PCカードのアイコン

- 2 「CBIDE2 DuoATA Card (\*\*\*\*\* Mode)の中止」を選んで、左クリックする  
"\*\*\*\*\*"の部分はご使用のモード(CardBus、または16bitモード)によって変わります。



- 3 下記の画面が表示されたら [OK] ボタンを左クリックする



- 4 インターフェースカードをスロットから取り外す

## [参考]

もう一度接続するときは、インターフェースカードをPCカードスロットに差し込んでください。

# PCカードスロットからの給電による動作

本機はACアダプターを使用せずに、ノートブックパソコンのPCカードスロットから電源供給を受けて( PCカード給電 ) 動作させることができます。

## [ 注意 ]

- ・必ずPCカードのモードスイッチが「16bitモード」になっていることを確認してください。「Card Bus モード」では動作しません(13 ページ)。
- ・接続しているノートブックパソコンが再起動、またはハングアップすることがあります。このようなときは、ご使用のノートブックパソコンの電源供給能力が足りないと考えられますので、付属のACアダプターを接続してご使用ください。
- ・転送速度はノートブックパソコンの給電能力の関係で以下のように制限されます。より速い転送速度でご使用になりたいときは付属のACアダプターを接続して(19 ページ)、モードスイッチを「Card Busモード」に設定してください(13 ページ)。  
DVD-ROM : 最大2700KB/s(2倍速)  
CD-ROM : 最大1350KB/s(9倍速)
- ・ドライブとしては、AC電源スイッチ(12 ページ②)のオン/オフに関わらず動作します(電源インジケータ(12 ページ①)が点灯します)が、スイッチがオンの状態になっていないとヘッドホン端子から音が出力されないことがあります。
- ・本機はノートブックパソコンの電源により常時通電されている状態になります。節電のため(特にノートブックパソコンをバッテリーでご使用になっているとき)本機を長時間ご使用にならないときは、インターフェースカードをPCカードスロットから抜くことをおすすめします(19 ページ)。

## PCカードスロットからの給電による動作

本機をパソコンで操作するためには、接続をする前にセットアップ（デバイスドライバのインストール）を行う必要があります。セットアップをまだ行ってないときは、「セットアップの前に(13～15 ページ)」をご覧ください。

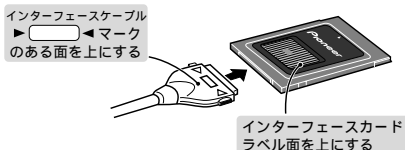
### PCカード給電するときの接続のしかた

パソコンのセットアップ終了後、以下の手順にしたがって各機器と接続してください。

#### 1. 本機をパソコンに接続する前に以下のことを確認する

- ・パソコンの電源が入っている
- ・Windowsが起動している

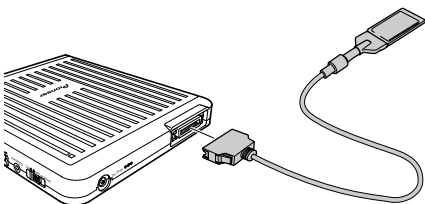
#### 2. 付属のインターフェースケーブルと付属のインターフェースカードを接続する



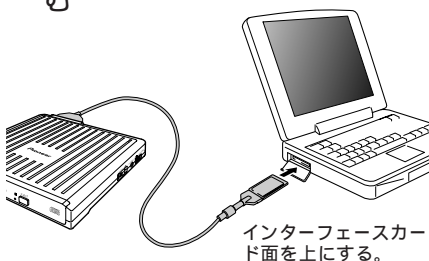
#### 【注意】

インターフェースカードからインターフェースケーブルを取りはずすときは、インターフェースケーブルのコネクタの両側のツメを押しながら水平に取りはずしてください。

#### 3. 付属のインターフェースケーブルのもう一方をコネクタの向きに注意して本機に接続する



#### 4. 付属のインターフェースカードをノートブックパソコンのPCカードスロットに差し込む



#### 【注意】

パソコンの機種によっては、インターフェースカードを差し込む面の裏と表が逆になっていることがあります。

#### 5. 「マイコンピュータ」アイコンをダブル左クリックして、セットアップを確認する

「マイコンピュータ」の画面上にDVD-ROM ドライブの表示が追加されます。



#### [ 注意 ]

が表示されなかったときは「故障？ ちょっと調べてください(34～35 ページ)」をご覧ください。

# ノートブックパソコンのリカバリーについて

ここでは、DVD-ROMドライブによるノートブックパソコンのリカバリー方法を代表的な機種を例に説明します。

## [重要]

通常はリカバリーする必要はありません。パソコンの初期インストール済みのソフトウェアを誤って削除してしまった、破損してしまったときに行ってください。リカバリーを行うと、パソコンによっては最初にハードディスクの初期化（フォーマット）を行うものもあります。大切なデータは必ずバックアップを取っておいてください。リカバリーに関しては、ご使用のパソコンの取扱説明書をよく読み、お客様の責任において行ってください。

セットアップディスク内のReadme.txt、およびRecovery.wriにも同様の記述がありますので、そちらもよくお読みください。また、以下に述べるリカバリー用起動FDの名称はパソコンメーカー各社によって異なりますので読み換えてご確認ください（例：「CD-ROMセットアップ起動ディスク」など）。

## リカバリーする前に確認すること

ここでは、Windows 98/95上でリカバリー用起動FDの作成を行った後に、リカバリーを行う方法を説明します。必ずWindows 98/95が起動している状態で作業を行ってください。

- リカバリー用起動FDの書き換えを行うときは、必ずリカバリー用起動FDのバックアップをとり、以後作成したリカバリー用起動FDを使用してください。
- リカバリーすることを目的としてインターフェースカードを使用するときは、必ずカード側面のモードスイッチを16bitモードにして使用ください。使用方法については、「CardBusで使用できない場合(14 ページ)」をご覧ください。CardBusモードで使用するときは、リカバリーした後に「モードスイッチの設定(13 ページ)」をご覧になり、設定を切り換えてください。

下記のような順序でノートブックパソコンのリカバリーを行います。1、2の作業はWindows 98/95が起動している状態で行ってください。

1. リカバリー用起動FDのバックアップ
2. リカバリー用起動FDの書き換え
3. 接続
4. ノートブックパソコンのリカバリー

# ノートブックパソコンのリカバリーについて

## [ 参考 ]

- ・付属のセットアップディスクには、再インストールFD作成プログラム"INSTFD.EXE"が添付されています。インターフェースカードをDVD-ROMドライブに接続し、"INSTFD.EXE"使用するとOSのリカバリーを行うときに必要な起動ディスクを簡単に作成することができます。
- ・リカバリーを行うときには、リカバリーディスクの内容に応じて必要なドライバをコピーし、"CONFIG.SYS"や"AUTOEXEC.BAT"を書き換えます。"INSTFD.EXE"を実行後、"CONFIG.SYS"や"AUTOEXEC.BAT"に若干の変更が必要になる場合があります。

## [ 注意 ]

リカバリーを行うには、パソコンに付属、またはパソコンメーカー各社から提供されている「リカバリー用起動FD」が必要です。あらかじめ作成しておいてください。詳しい作成方法についてはパソコンの取扱説明書をご覧ください。また、「リカバリー用起動FD」をお使いになるときはバックアップをとり、バックアップしたディスクをお使いください。詳しいバックアップの取りかたについてはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

## リカバリー用起動FDのつくりかた

- 1 Windows98/95を起動します。
- 2 フロッピーディスクドライブに「セットアップディスク」を入れてください。
- 3 「マイコンピュータ」→「A」→「INSTFD」を起動してください。
- 4 画面の指示にしたがって「リカバリー用起動FD」にデバイスドライバをインストールしてください。
- 5 INSTFDが終了後、MS-DOSプロンプトウィンドウを閉じてください。

これでリカバリー用起動FDができあがりました。これ以降の作業の進めかたについては、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

パソコンの中には、"CONFIG.SYS"や"AUTOEXEC.BAT"に若干の変更が必要になる場合があります。詳しくはセットアップディスク内の参考情報をご覧ください。

## [ 注意 ]

参考情報はフロッピー内のファイルの編集例ですので、絶対にハードディスク内の"CONFIG.SYS"や"AUTOEXEC.BAT"を編集しないでください。誤った設定をするとパソコンが起動しなくなります。



# ノートブックパソコンのリカバリーについて

## "INSTFD.EXE"リカバリー用起動FD作成プログラムの実行する内容について

このユーティリティーはOS再インストール用のリカバリーFDの内容に応じて必要なドライバーをコピーし"CONFIG.SYS"、"AUTOEXEC.BAT"を書き換えます。

### コピーされるドライバ

- DUOATAPE.SYS (DOS/V用ポイントインネーブラ)  
PCカードコントローラー (Intel80365互換) を直接操作して、インターフェースカードを初期化します。
- DUOATACD.SYS (CD-ROMドライバ)  
CD-ROMドライバとして動作します。DOS付属のMSCDEX.EXEと一緒に使用します。

### 組み込み例

CONFIG.SYSの内容 (一部)

```
DEVICE=A:¥DUOATAPE.SYS
```

```
DEVICE=A:¥DUOATACD.SYS /D:DUOATA01
```

AUTOEXEC.BATの内容 (一部)

```
A:¥MSCDEX.EXE /D:DUOATA01
```

付属のセットアップディスクの中のRecovery・wriに機種ごとの組み込み例を記載していますのでご覧ください。

# 故障？ちょっと調べてください

意外な操作ミスが故障とされています。故障かな？と思ったら症状にあわせて以下の項目をチェックしてください。

## セットアップに関する項目

### インターフェースカードを差し込んでも認識されない

原因：CardBusスロットではないIPCカードスロットで、インターフェースカードのモードスイッチが「CardBus モード」になっている。

処置：「モードスイッチの設定(13 ページ)」で、インターフェースカードのモードスイッチを「16bitモード」に切り換えてください。

### インターフェースカードは認識されているのに「マイコンピュータ」のウィンドウの中にDVD-ROMのアイコンが表示されない

原因：DVD-ROMドライブの電源がオフになっている、またはDVD-ROMドライブとインターフェースカードが正しく接続されていない。

処置：DVD-ROMドライブとインターフェースカードの接続が正しく行われていることを確認してください。また、インターフェースカードを差し込む前にDVD-ROMドライブの電源がオンになっていることを確認してください。

原因：インターフェースカードのWindows98/95用デバイスドライバが正常に動作していない。

処置：「アンインストールのしかた(22 ページ)」をご覧になり、一度デバイスドライバをアンインストールした後、「セットアップのしかた(16～21 ページ)」にしたがってデバイスドライバのインストールをもう一度行ってください。

### CardBusモードでサスペンドから復帰した後にDVD-ROMドライブにアクセスできない、またはドライブのアイコンが消える

処置：サスペンドから復帰したあとに「Windows98/95を使用中にインターフェースケーブルを抜き差しする(28 ページ)」にしたがってパソコンからインターフェースカードを抜きもう一度差し込んでください。

# 故障？ ちょっと調べてください

## 操作に関する項目

### 電源が入らない

原因：ACアダプタが正しく接続されていない。

処置：ACアダプタを本機と電源コンセントに接続し直してください(18 ページ)。

### パソコンが本機を正しく認識しない

原因：パソコンと本機の電源を入れる前に、インターフェースカードをパソコンのPCカードスロットに差し込んでいる。

処置：パソコンと本機の電源を入れてからインターフェースカードをパソコンのPCカードスロットに差し込んでください(20 ページ)。

原因：ケーブルが正しく接続されていない。

処置：すべてのケーブルを正しく接続してください(19～21 ページ)。

原因：デバイスドライバをインストールしていない。

処置：デバイスドライバをインストールしてください(18 ページ)。

原因：インターフェースカードがPCカードスロットの奥まで正しく差し込まれていない。

処置：インターフェースカードをPCカードスロットに正しく入れ直してください。

### DVD-ROM/CD-ROMからデータを読み出せない

原因：ディスクのレーベル面を下にしてセットしている。

処置：レーベル面を上にしてディスクをセットし直してください(24 ページ)。

原因：ディスクが汚れている。

処置：ディスクをクリーニングしてください(36 ページ)。

原因：ディスクが傷ついている。

処置：ディスクを交換してください。

原因：インターフェースケーブルがパソコンと正しく接続されていない。

処置：インターフェースケーブルを正しく接続ください(20 ページ)。

### 音楽CD以外の音がパソコンからでない

原因：パソコンにサウンド機能が内蔵されていない。

処置：パソコンにサウンドカードを取り付けてください。

### 音楽CDの音がパソコンからでない

原因：ステレオミニケーブルが正しく接続されていない。

処置：パソコンのLINE IN端子と本機のヘッドホン端子を市販のステレオミニケーブルで接続してください(23 ページ)。

# 使用上の注意

## ディスクの取り扱いかた

### 取り扱いかた

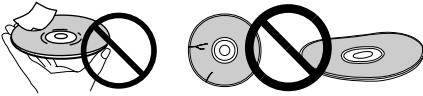
両手で持つ場合



片手で持つ場合



- ・ 損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。
- ・ ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
- ・ ディスクに紙やシールを貼り付けないでください。
- ・ ノリなどがはみ出した場合、故障の原因になります。特に、レンタルディスクにおいてはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどはみ出しを確認してから、ご使用ください。

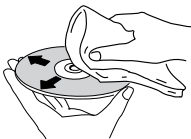


### 保管

- ・ 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ・ ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

### ディスクのお手入れ

- ・ ディスクに指紋やホコリが付いた場合、データが正しく読み取れないことがあります。柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭いてください。



- ・ ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー、帯電防止剤などはご使用できません。
- ・ ディスクの清掃には別売りのディスククリーニングセット（JV-D11）の使用をおすすめします。
- ・ 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。

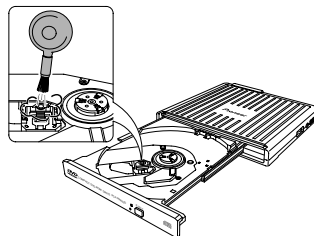
### 特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。



### レンズのクリーニング

レンズにゴミやホコリがたまると、データが正しく読み取れないことがあります。そのときは、市販のカメラレンズ用ブローでレンズのクリーニングします。レンズに触れたり強い風を当てないように注意してクリーニングしてください。なお、市販されているCDレンズ用クリーニングディスクは、レンズを破損する恐れがありますのでご注意ください。また、クリーニングしても不具合が発生したときは、アフターサービス（39ページ）をお読みください。



# アフターサービス

## 保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から1年間です。

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ユーザーサポートについて

パイオニアパソコンユーザーサポート

☎ 03-3495-5777

(平日：午前10時～午後5時)

\* 正午12時～午後1時を除く

FAX 03-3495-4355(終日)

お電話によるお問い合わせは、回線の混雑状況によりご利用の皆様にご迷惑をおかけする場合があります。できる限り、FAXでのご利用をお願いいたします。

## 修理に関するご質問、ご相談は

お買い上げの販売店または、最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。所在地、電話番号は**38～40**ページ「修理窓口」をご覧ください。

## 修理を依頼されるときは

**34～35**ページに従って調べていただき、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

## 保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。

## 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

# アフターサービス

## 修理窓口

北海道地区	
札幌サービスステーション	TEL 011 (644) 4771 FAX 011(611)5694 〒064-0822 札幌市中央区北2条西 20-1-3 クワザワビル
旭川サービスステーション	TEL 0166 (51) 8161 FAX 0166(51)8175 〒070-0810 旭川市本町 2-437
帯広サービスステーション	TEL 0155 (33) 8040 FAX 0155 (34) 7147 〒080-0047 帯広市西17条北 2-39-3
函館サービスステーション	TEL 0138 (42) 3609 FAX 0138 (42) 4908 〒041-0811 函館市富岡町 2-18-7
東北地区	
青森サービス指定店 (有) エーティックス	TEL 0177 (23) 4331 FAX 0177 (35) 2438 〒030-0821 青森市勝田 2-16-10
盛岡サービスステーション	TEL 019 (659) 1955 FAX 019 (659) 3165 〒020-0051 盛岡市下太田下川原 153-1
秋田サービスステーション	TEL 018(863) 2261 FAX 018 (864) 7258 〒010-0963 秋田市八橋大沼町 5-12
山形サービスステーション	TEL 023 (623) 3555 FAX 023 (632) 1118 〒990-0023 山形市松波 1-8-17
仙台サービスステーション	TEL 022 (375) 8111 FAX 022 (375)4996 〒981-3121 仙台市泉区上谷刈石田 20
郡山サービスステーション	TEL 024 (923) 6845 FAX 024 (939) 1372 〒963-8861 郡山市鶴見坦1-9-25 クレールアヴェーニュー 伊藤第2ビル
関東・甲信越地区	
宇都宮 サービスステーション	TEL 028 (663) 0811 FAX 028 (664)0657 〒321-0954 宇都宮市元今泉 5-1-9
水戸サービス指定店 (有) エーブイアール	TEL 029 (248) 4820 FAX 029 (248) 1306 〒310-0844 水戸市住吉町 307-4
つくば サービスステーション	TEL 0298 (58) 2211 FAX 0298 (58) 2210 〒305-0032 つくば市竹園 2-10-6
高崎サービスステーション	TEL 0273 (23) 3179 FAX 0273 (22) 8978 〒370-0851 高崎市上中居町 45-2
新潟サービスステーション	TEL 025 (241) 1858 FAX 025 (241) 1879 〒950-0913 新潟市鏡 1-5-23
佐渡サービス指定店 横山電機商会	TEL 0259 (63) 3400 FAX 0259 (63) 3400 〒952-1209 佐渡郡金井町千種 1158-1
大宮サービスステーション	TEL 048 (651) 8121 FAX 048 (651) 8030 〒330-0038 大宮市宮原町 1-310-1
千葉サービスステーション	TEL 043 (233) 1484 FAX 043 (231) 9421 〒260-0001 千葉市中央区都町 2-6-24
船橋サービスステーション	TEL 047 (423) 4471 FAX 047 (423) 4475 〒273-0002 船橋市東船橋 1-21-12
世田谷 サービスステーション	TEL 03 (3411) 8151 FAX 03 (3419) 4234 〒155-0032 世田谷区代沢 4-25-9
両国サービスステーション	TEL 03 (3621) 7600 FAX 03 (3621) 7610 〒130-0015 墨田区横網 2-14-5
城南サービスステーション	TEL 03 (3714) 3611 FAX 03 (3791) 7834 〒152-0002 目黒区目黒本町 5-7-15

# アフターサービス

城北サービスステーション	TEL 03 (3935) 9790 FAX 03 (3550) 3625 〒174-0076 板橋区上板橋 3-11-5 木下ビル2F
多摩サービスステーション	TEL 042 (525)3571 FAX 042 (524) 5947 〒190-0022 立川市錦町 3-1-13 立川IASビル3F
三宅島サービス指定店 勝見電機	TEL 04994 (6) 1246 〒100-1211 三宅村大字坪田
横浜サービスステーション	TEL 045 (474) 0381 FAX 045 (474) 0791 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-6-3 三井生命新横浜第2ビル
厚木サービスステーション	TEL 0462 (23)3741 FAX 0462 (23) 4434 〒243-0004 厚木市水引 2-5-11
山梨県のお客様は厚木サービスステーションへご連絡ください。	TEL 0462 (23)3745 FAX 0462 (23) 4434
松本サービスステーション	TEL 0263 (28) 0063 FAX 0263 (26) 3122 〒390-0842 松本市征矢野 2-8-7
<b>中部・北陸地区</b>	
名古屋サービスステーション	TEL 052 (532) 1130 FAX 052 (532) 1148 〒451-0063 名古屋市区西区押切 2-8-18
岡崎サービスステーション	TEL 0564 (21) 8605 FAX 0564 (21) 8692 〒444-0079 岡崎市石神町 3-17
岐阜サービス指定店 (有) 岐阜カスタマーサービス	TEL 058 (271) 8633 FAX 058 (274) 5256 〒500-8356 岐阜市六条江東1-1-3
津サービスステーション	TEL 059 (227) 5721 FAX 059 (227) 5921 〒514-0003 津市桜橋 1-188
沼津サービスステーション	TEL 0559 (22) 3166 FAX 0559 (21) 9050 〒410-0058 沼津市沼北町1-14-26
静岡サービスステーション	TEL 054 (238) 4136 FAX 054 (237)5691 〒422-8034 静岡市高松1-6-5
金沢サービスステーション	TEL 076 (291) 6424 FAX 076 (291) 6425 〒921-8005 金沢市間明町1-130
富山サービス指定店	TEL 0764 (25) 3008 FAX 0764 (25) 3027
北陸AVサービス	〒939-8211 富山市二口町324-1
福井サービス指定店 (有) サウンドスタッフコデラ	TEL 0776 (27) 1868 FAX 0776 (27) 1768 〒910-0001 福井市大願寺 3-5-9
<b>近畿地区</b>	
大阪サービスステーション	TEL 06 (6353) 3701 FAX 06 (6353) 1145
大阪南サービスステーション	〒530-0035 大阪市北区同心2-1-26 TEL 0722 (21) 1608 FAX 0722 (21) 0679 〒590-0962 堺市寺地町東2-2-8
和歌山サービス指定店 (有) アイテック	TEL 0734 (46) 3025 FAX 0734 (46) 3026 〒641-0021 和歌山市和歌浦東3-1-25
神戸サービスステーション	TEL 078 (251) 2171 FAX 078 (251)7173 〒651-0086 神戸市中央区磯上通り5-1-13
姫路サービス指定店	TEL 0792 (51) 2655 FAX 0792 (51) 2656
オーディオコモ	〒671-0251 姫路市花田町上原田 30-4
福知山サービス指定店	TEL 0773 (24) 5875 FAX 0773 (24) 5875
北近畿オーディオサービス	〒620-0055 福知山市篠尾新町2-74 カマハチマンション
京滋サービスステーション	TEL 075 (682) 7185 FAX 075 (682) 7176
奈良サービス指定店	〒601-8448 京都市南区西九条豊田町 24-1
エルバック(株)	TEL 0742 (22) 8009 FAX 0742 (22) 1312 〒630-8325 奈良市西木辻八軒町200-62 ナカタニビル内

# アフターサービス

## 中国・四国地区

広島サービスステーション (山口県を含む)	TEL 082 (228) 2403 FAX 082 (227) 4866 〒730-0013 広島市中区八丁堀 2-31 鴻池ビル内
岡山サービスステーション	TEL 086 (276) 1642 FAX 086 (276) 3904 〒703-8282 岡山市平井3-1078-6
松江サービスステーション	TEL 0852 (21) 1235 FAX 0852 (27) 8777 〒690-0015 松江市上乃木4-30-34
鳥取サービス指定店	TEL 0857 (29) 1489
田中オーディオサービス	〒680-0061 鳥取市立川町 5-240-1
高松サービスステーション (徳島県を含む)	TEL 0878 (62) 1435 FAX 0878 (61) 4841 〒760-0014 高松市昭和町 1-3-33 大商ビル
松山サービスステーション	TEL 089 (925) 3778 FAX 089 (924) 5573 〒791-8013 松山市山越5-12-8
高知サービスステーション	TEL 0888 (75) 8213 FAX 0888 (22) 1729 〒780-0043 高知市寿町4-5 共和第一ビル2F

## 九州地区

福岡サービスステーション (佐賀県を含む)	TEL 092 (471) 7810 FAX 092 (412) 7460 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-12-3
北九州	TEL 093 (951) 1746 FAX 093 (951) 1748
サービスステーション	〒802-0011 北九州市小倉区重住3-1-20
長崎サービスステーション	TEL 095 (846) 4312 FAX 095 (846) 4313 〒852-8145 長崎市昭和1-8-21 昭陽ビル101
熊本サービスステーション	TEL 096 (381) 1874 FAX 096 (381) 4430 〒862-0954 熊本市神水1-32-19
大分サービスステーション	TEL 097 (536) 0068 FAX 097 (536) 6723 〒870-0008 大分市王子西町8-21 植木ビル
宮崎サービスステーション	TEL 0985 (26) 1623 FAX 0985 (26) 1622 〒880-0821 宮崎市浮城町98-1
鹿児島	TEL 099 (226) 2574 FAX 099 (224) 7692
サービスステーション	〒892-0841 鹿児島市照国町3-21 第二大見ビル
沖縄サービスステーション	TEL 098 (879) 1910 FAX 098 (879) 1352 〒901-2122 浦添市字勢理客557-1 トヨタビル3F

平成11年11月現在 修理窓口の名称・所在地・電話番号は変更することがございますのでご了承ください。



# 仕 様

## ■ 一般

使用ディスク .....  
DVD-ROM/CD-ROM規格の各種ディスク  
(8cm/12cmディスク専用)

対応ディスク規格 .....

- DVD-ROM(1層/2層)、DVD-Video、  
DVD-R(3.95GB/4.7GB)
- CD-ROM(Mode 1)、CD-ROM XA  
(Mode 2 Form1、Form2)
- CD-DA(音楽CD)、Video CD、CD-R、  
CD-RW\*
- Photo CD(マルチセッション対応)、CD-  
Extra、CD-TEXT  
(DVD-RAMは使用できません。)

\* CD-RWはディスクの性質上、本機の性能を  
十分に発揮できない場合があります。

データ転送レート(サスティンド)

..... DVD-ROM : 4590 ~ 10800 KB/s  
(3.4× ~ 8.0×)  
..... CD-ROM : 2115 ~ 4800 KB/s  
(14.1× ~ 32.0×)

バッファ容量 ..... 512 KB

アクセスタイム .....  
..... DVD-ROM:150 ms  
..... CD-ROM:110 ms

シークタイム .....  
..... DVD-ROM:130ms  
..... CD-ROM:100ms

## ■ 付属品

セットアップディスク  
(3.5インチフロッピーディスク) ... 1  
DVD再生ソフト ..... 1  
インターフェースケーブル ..... 1  
インターフェースカード(PCMCIAタイプII)  
..... 1  
ACアダプター ..... 1  
取扱説明書 ..... 1  
保証書 ..... 1

## ■ その他

電源 ..... AC100V  
..... ( 付属ACアダプター )  
消費電力 ..... CD-ROM再生時: 約10W

外形寸法(突起部含まず) .....  
139(幅) × 20(高さ) × 148.5(奥行き) mm  
本体質量 ..... 397g ( 本体のみ )  
動作温度 ..... +5 ~ +35  
動作湿度 ..... 5% ~ 85%  
(結露のないこと)

- 仕様および外観は改良のため予告なく変更  
する場合があります。

# ソフトウェアのご使用条件

## ご使用になる前に必ずお読みください

弊社の製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。製品に付属しておりますソフトウェアプログラム（以下「本ソフトウェア」といいます）は法的な保護の対象となる著作物であり、あらかじめ許諾された範囲外でのご使用は処罰の対象となることがあります。この使用許諾契約書には、本ソフトウェアの取り扱いについての規定がなされておりますので、ご使用にあたっては以下の使用許諾条件を慎重にお読みください。

### 1. 本ソフトウェアについて

本ソフトウェアは（株）アイ・オー・データ機器が著作権を持ち、パイオニア株式会社（以下「弊社」といいます）が製品をお買い上げいただいたお客様（以下「お客様」といいます）に対し使用許諾するものです。売買の対象とされるものではありませんのでご注意ください。

### 2. 使用権

弊社は、お客様に対して本ソフトウェアの非独占的な使用権を許諾します。お客様はこの契約書に基づき、本ソフトウェアを以下の範囲内で使用することができます。

- (a) お客様は、本ソフトウェアを特定のパーソナル・コンピューター1台に限り使用することができます。
- (b) お客様は(a)の規定の範囲において、本ソフトウェアをコンピューターのハードディスクにインストールすることができます。
- (c) お客様は本ソフトウェアを、第三者に再使用許諾すること、貸与または譲渡引用その他の方法で使用させること、またあらゆる商業目的での使用をすることはできません。
- (d) 本ソフトウェアの利用は、お客様が個人的な目的に使用する範囲に限らせていただきます。

## ソフトウェアのご使用条件

### 3. 複製・改変の制限

- (1) この契約書に基づき使用許諾されている場合を除き、本ソフトウェアを複製、結合、配付もしくはコンピューター・ネットワーク上で送信することはできません。
- (2) 本ソフトウェア逆コンパイル、逆アセンブルもしくは本ソフトウェアを翻案または改変することはできません。

### 4. 免費

弊社は、本ソフトウェアを現存するそのままの状態を提供し、特定目的への適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。本ソフトウェア及び本ソフトウェアの使用により、もしくは使用できなかったことにより生じる直接的、間接的あるいは結果的損害について弊社は一切責任を負いかねます。

### 5. 合意事項

この契約書は、本ソフトウェアに与えられる諸権利のうち特に重要な事項を定めたもので、お客様と弊社との間に締結される契約書となります。本ソフトウェアを使用開始されるときに、お客様はこの契約書の条項に同意されたものとします。

以上

パイオニアのインターネットホームページで製品の紹介や最新ドライバの提供を行っています。

<http://www.pioneer.co.jp/comp/>

愛情点検




長年ご使用の当社製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- ・電源コードにさけめやひび割れがある。
- ・電気が入ったり切れたりする。
- ・本体から異常な音、熱、臭いがする。



すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社  153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

©1999 パイオニア株式会社 禁無断転載

<99K00ZF0J01>

<VRA1168-A>